

児童発達支援ガイドラインの自己評価の実施報告

施設名:あきやまケアルーム

対象者:事業者職員:保護者

調査期間:令和2年7月21日～8月5日

公表日:令和1年8月 8日～

公表方法:ホームページ及び掲示

報告日:令和2年8月8日

児童発達支援評価表(事業所職員向け)

		チェック項目	はい(%)	工夫している点、課題や改善すべき点など	今後の対策
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室スペースとの関係で適切であるか	100%		
	2	職員の配置数・専門性	67%		
	3	生活空間 分かりやすい構造化された環境になっているか。バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	83%	ドアのキーブに時間が掛かる(1階・ケアルーム入口)	
	4	生活空間は清潔で心地よく過ごせる環境か。子供たちの活動に合わせた空間か。	100%		
業務改善	5	業務改善を進めるためにのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画しているか	67%		
	6	保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向を把握し、業務改善につなげているか	83%	頂いた意見はできる限り対応できるようにしている	
	7	事業者向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	83%		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	50%		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	67%	保護者向けの研修を定期的実施している	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	100%	作成時、複数人で個人の支援について話し合っている	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	50%		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	67%		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100%		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	83%		主に保育士が立案しているが他職種と相談して決めていきたい
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	83%		
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画が作成されているか。	100%		
	17	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	83%		
	18	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	67%	フィードバックしあい相談をしている	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%		
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	67%	3ヶ月に1回の療養記録を作成しその中で見直しをしている	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	67%		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	67%		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	50%		
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	67%		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	50%		
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学校)との間で支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	50%	就学後に引き継ぎを担任と行い、児童の様子を細かく伝えていいる	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	33%		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や障害のない子どもと活動する機会がある	100%	隣接した保育室と合同での活動プログラムを実施	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的参加している	33%		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%		
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者にたいして家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	33%		
保護者への説明責任等	32	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	83%		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容とこれに基づききくせいされた「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%		
	34	定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援している	100%		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により保護者同士の連携を支援している	67%	父母会での施設提供や施設での保護者会を年3回実施している	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	67%		
	38	個人情報取り扱いに十分注意している	100%		
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のため配慮している	100%		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を行っている	50%		
非常時等の対応	41	緊急時マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	83%		保護者に向けたマニュアルの説明をしていないので今後適切に説明をしていく
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っている	83%		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	100%		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	83%		
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	67%		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	17%		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了承を得た上で、児童発達支援計画に記載している	17%		

児童発達支援評価表(保護者)

		チェック項目	はい(%)	ご意見
環境・体制整備	1	活動等のスペースが十分に確保されているか	100%	
	2	職員の配置数・専門性	80%	以前は職員が少ない印象があったが、現在は適切に配置されている
	3	生活空間 分かりやすい構造化された環境になっているか。バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	60%	
	4	生活空間は清潔で心地よく過ごせる環境か。子供たちの活動に合わせた空間か。	80%	O2投与や吸入必要とする子どもたちも多いので、持参していない子のために緊急時の配管や機器があっても良いかと思う
適切な支援の提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか。	80%	意図していること、願いに対して具体的に計画を立ててくれている。安心できる
	6	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	60%	しっかりと設定されている
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	80%	
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	80%	同じ内容でも、変化を加えたり、その子の体調に合わせて活動しており、工夫されている。ZOOMを活用した工夫して頂いた。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等の交流や、障がいのない子どもと活動する機会はあるか	80%	保育室の友達と一緒にの空間で絵本を読んだり遊んでいる。密が大丈夫な時期が来たら、触れ合ったりお話ができるようになると良い 障がいのないお子さんとの交流には感謝。子ども同士は仲良くなれ、親へも障がいの子どものことを理解していただける良い機会だと思っている
保護者への説明等	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	80%	
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容とこれに基づきくせいされた「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	80%	説明されている
	12	保護者に対して家族支援プログラムが行われているか	40%	
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共同理解ができているか	80%	送迎時、状況や状態を話す機会があるので情報交換できて、安心できている
	14	定期的に保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	40%	アドバイスのおかげで、抱っこひもを使用できるようになり、とても良かった。面談はなし。
	15	父母の会、活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	60%	
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知、説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	80%	食事中に三角マット等、すぐに用意していただいた
	17	子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	80%	気にかけてもらっている
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	80%	
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	60%	
非常時等の対応	20	緊急時マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また発生時を想定した訓練が実施されているか	60%	防犯や感染症マニュアルがあるのは知らなかった
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	100%	
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	80%	いい表情をすることが多くなった。体調崩さず安定して通いたい
	23	事業所の支援に満足しているか	80%	